



SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ

2007.6.6 (No.2458) 週報 No.42

第2560地区ガバナー／中 條 耕 二
会 長／渡 辺 勝 利
会長エレクト／荻根澤 隆雄 (クラブ奉仕A)
副 会 長／中 村 和 彦 (クラブ奉仕B)
幹 事／山 田 富 義
S A A／石 月 良 典
会 計／中 村 和 彦

例会日／毎週水曜日 12:30～
例会場及び事務局／
三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内
例会場／TEL 34-3311
事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail: sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
(「はshiftを押しながら「へ」のキーを
押してください)

■本日の出席会員数:66名中47名
■先々週出席率:90.77%

【ヴィジター】

・村上RCより吉田昭平さん

【先週のメイクアップ】

[6.4] 三条南RCへ
・斎藤弘文さん、石橋育於さん
[6.4] 新世代危機管理委員会へ
・成田秀雄さん



「率先しよう」

2006～2007年度国際ロータリーのテーマ



シラン

副会長挨拶

中村和彦 副会長



Last Tree Bridge「ISSHIN-HASHI」

最後の木橋「一新橋」

三条市中心部を流れる五十嵐川には、多数の橋が架かっております。

その中でも、三条市の一ノ木戸地区と新保地区を結ぶ一新橋は、1933年(昭和8年)に架橋され、1949年(昭和24年)の五十嵐川増水により橋の3分の1が流出、その後

1952年(昭和27年)に架け替えられて、以来、長きにわたり、三条の町並みと五十嵐川の流れを見続けて来ました。

この橋は、現在では珍しくなった木橋。かつては他にも木橋が架かっていたのですが、田島橋の架け替え以後は、木橋としてただ1つの存在となっていました。

数々の風雪や水害などにも耐えたきた一新橋だったのですが、とうとうその終わりがやってきました。「7・13水害」と言われた大水害です。一新橋は流失こそしなかったものの、激しい水の流れて橋に影響が出たため、一時は自動車が通れなくなりました。

その後、10月23日の中越大震災の影響もあり、傷みが目立ってきたのです。

New Bridge「ISSHIN-HASHI」 新たなる橋「一新橋」

一新橋は、新たに橋長104m、2車線通行の鋼製橋梁に生まれ変わります。

Design・Concept デザイン・コンセプト

新しい一新橋の高欄と照明柱は、市民からのデザイン・コンセプトを受け、木橋をイメージしています。

藤田説壘さん

吉田P.G.のご来訪を歓迎して。

本日のスピーカーに敬意を表して。

日戸平太さん

5月30日の慰労会ではごちそうになりました。

菊池 渉さん

暑くなりました。そろそろ爛酒より冷えたビールと枝豆でしょうか。

佐野勝榮さん

先週東京で長女の結婚式を挙げる事ができました。

広岡豊作さん

越前屋さんでの中メの挨拶、酒が回ってしまって大変失礼致しました。ごめんなさい。

小越憲泰さん

孫が来ていまして、家の中は全て孫に振り回されております。それも楽しいものです。

小出子恵出さん

話題がありません。つたない卓話を聞いて下さい。

高橋章仁さん

会長・幹事さん、ラストスパート1ヶ月！ご苦労様です。

藤田紘一さん、石塚欣司さん、中村和彦さん、石月良典さん、船越正夫さん、杉山幸英さん、丸山行彦さん、明田川賢一さん、川瀬康裕さん、若槻八十彦さん、会田二郎さん、松永一義さん、熊倉昌平さん

小出会員、坂井会員、卓話ご苦労様です。楽しみにしております。

樺山 仁さん

BOXに協力。

斎藤真澄さん

都合で早退させていただきます。

6月6日分 ￥ 61,000
今年度累計 ￥2,298,000

卓 話

小出子恵出 会員



今ほど会長挨拶をされた中村さん関連の工事でもある、五十嵐川の改修工事の象徴的なできごと、一新橋の開通式が6月3日(日)に行われたことが報道されました。私は、今日歩いて“渡り初め”をしてきましたが、水は穏やかな流れでした。間もなく“梅雨入り”になります。三条市で9名の犠牲

者を出しました悪夢の7月13日が近づいてきます。「百年の計」とよく言われますが、橋の上でこの改修は、「百年の計」に基づいてできたのか、ほんとに

大丈夫なのか、と少し心配をして帰りました。何が心配だったかは後で述べます。

私は、H7年9月に三条ロータリークラブに入会させて頂きました。当然のように卓話の機会がありまして、そのときに「五十嵐川が未改修のため、越水による堤防破堤が起きますよ」と言った憶えがあります。「加茂川の流域面積^{※1}(120km²)に比べ五十嵐川の流域面積^{※1}335km²はちょうど3倍あります。したがって、五十嵐川の断面積が加茂川の3倍なければ安心できない」と言ったつもりです。(※1流域面積はJR信越本線を基準に上流部面積)

加茂川はS42年とS44年の2度の水害を契機に、すでに河川整備がされていました。当時から河川の整備計画では、「100年に1回」の確率で発生する豪雨を想定して、その豪雨に持ちこたえられるように堤防を計画していました。卓話の後、「堤防の決壊する場所を教えろよ」「右岸か左岸か」とか問われましたが、五十嵐川は、どこで川が氾濫しても不思議でない状態でした。

「100年確率」の豪雨ですから、滅多に起こらない、一生に一度体験するかどうかのはずなのに新潟県では、①H7年「7.11水害」上越地方の関川・姫川が氾濫しました。②H10年の「8.4水害」新潟市のゼロメートル地帯と豊栄市福島潟周辺が水没しました。③H12年「7.15水害」村松町、五泉市、新津市を流れる能代川が氾濫しました。

そして④「7.13水害」です。「100年確率」級の豪雨が10年間に4回も起きています。

4回の水害は台風でなく、梅雨前線のいたずらで、限られた狭い地域に、まとまって降る集中豪雨でした。「7.13水害」のとき降雨量は、1日で421mm(平年の7月の1ヶ月分を越える量が1日間(24時間)で降りました。

「7.13水害」は当然起こるだろうと関係者は思っていて、起きた水害でした。

三条市の「地域防災計画 平成15年度修正版」では「五十嵐川については安全性が低く、上流のダムによる洪水調節を行っても、降雨の状況によっては、堤防の決壊や漏水が発生する。さらに信濃川の水位が上昇すると、その影響で五十嵐川の水位も上昇し、氾濫する恐れがある」、そして「河川関係重要水防箇所として8カ所が提示され決壊の危険あり」とあげられています。今回破堤した諏訪地区の左岸堤700mは最も重要な水防区間(A)の1つとしてあげられています。

長谷川市長時代の平成8年には、県と共同で市内全戸にパンフレット(五十嵐川の航空写真)を配布し、川幅が狭く危険で河川改修の必要性を訴えたことがありました。

上流部に笠堀・五十嵐の2つのダムがあり、それにたまたま集中豪雨の空白地域で40年間大水害にあっていませんから“安心ボケ”をしておりました。

よってパンフレットには反応が鈍く、「災害でも起きなければ市民の合意形成はムリだ」と行政は考えてしまったようです。

信濃川の洪水計画は「200年確率」に基づいて計画されています。信濃川左岸の須頃堤防は、道路として利用されていますが、その堤防の外側（川側）に2m以上高い堤防ができていないことに気づいていただくとおもいます。

心配なことは、五十嵐川改修幅が「100年確率」より狭い幅で改修されています。

「災害は忘れた頃にやってくる」は、昔の話です。今は地球温暖化の影響によるものか、熱帯地方のスコールのような雨の降り方をします。

前回卓話をしてから9年後に「7.13水害」が起きました。この卓話から7年以内に水害が起ころうでなりません。

皆様の絶大なるご協力のお陰をもちまして、スマイルBOXには今日現在230万円に達しています。今年度の例会は残り3回になりました。年度末までには250万円になればと期待しております。皆様の大きなご協力有難う御座いました。

振り返り考えてみますと、1つに創立50周年を成功させようとするエネルギーが大きかったこと。それに関連した大口寄付があったことです。

もう1つは斎藤さんという大物委員長の「ニラミ」のお陰だと考えています。斎藤委員長は近頃公務多忙な様子ですが、非常に熱心な方で隔月でスマイル委員の研究会を開催してきました。情熱家であることは知っていましたが、これ程に熱心だとは再認識です。

残りの例会にもスマイルBOXにご協力をお願い致します。

〈社会奉仕委員会からのお知らせ!〉

先月行いました、槻の森運動公園 桜の木の下除草作業を引き続き行いたいと思いますので、会員の方々のご協力をお願いいたします。

日 時 平成19年6月30日(土)
集合時間・
集合場所 AM7:00 トリムの森階段下
※1時間程で終える予定です。
持 ち 物 各自軍手・カマをご用意下さい。

小雨決行

次週例会 6月20日 藤井次年度AG例会訪問

次々週例会 6月27日 会長・幹事慰労会 PM6:30~

於 二洲楼

